

どうしました
ご主人様？
ぼーっとしちゃって

もしかして
マリリンが可愛すぎて
見惚れちゃいました？

いいんですよ
ご主人様がその気なら
マリリンの身体は
いつでも向かい入れる
準備ができてます♡

さあさあ
ご主人様、
朝から出航
しちやいま
しょうよ♡



え… え!?
本当に出航するって
マジで言ってますか
ご主人様

い いやあ
わたしは全部
冗談で言ってる……

それに貴族のご主人様が
メイドに手を出したら
いろいろ不味いんじゃない?



ひえ……
これは本当に
食べられちゃう流れ！

マリンも
マリンもちっ
我慢できませんっ！

ご主人様のこと
ずっと好き
だったんですっ

この身体の火照り……
鎮めてください
ますか？

す……

あっ…♡

あたしの中に…
本当にご主人様の
モノが入って来て…

いつも自室のベッドで
自分を慰めるときに
夢見てた光景が
目の前で
起こっちゃってる…♡

ずぶぶ…♡



あ♡
しゅ っめい♡
すっく子宮の
周のvsのvsわで♡

ビク
ビク♡

あ♡

貴族とメイドという壁を
乗り越えてご主人様の
好きって気持ちさが
どんどんマリンの身体に
流れてきちゃってる♡

あ♡

あ♡

だめ……
気持ち良すぎて
何も考えられな……

ぽん♡

ぽん♡

ぽん♡

ぽん♡

ぐちゅ

ぐちゅ





ああっ!?

びゅ

るる

るる

グワッ

夢みたいですよ！
ご主人様とこうして
一つになれて

ご主人様のことは
ずっとずっと
好きだったけれど
叶わぬ恋と
諦めていたから…

はあ——♡

はあ——♡

貴族とメイド……
これから様々な壁が
行く手を阻んでくると
思いますが

マリンと一緒に
乗り越えてくれますか？

どろお……♡





はい
YES













